

◆宮古水産高で内航海運の
出前講座 宮古市磯鶏の宮古



水産高（榎原健校長、生徒252人）で11月24日、内航海運に関する出前講座が開かれ、海洋技術科の2年生20人が石油製品や鉄鋼の輸送などを行う業務に理解を深めた。

高齢化が進む船員の人材確保などを目的に東北運輸局が主催。宮城県塩釜市の興和海運の近江喜代彦取締役海務部長が講義し、近江さんは「高

齢化は深刻だ。若い人が船に興味を持ち、海運の道に進み、支えてほしい」と訴えた＝写真。

同校は本年度、関西方面の内航海運関連会社に4人が内定している。竹花光介さんは「船に関わる仕事をしたい。興味がある職業の説明を聞くことができ、勉強になった」と夢を膨らませた。